

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 1日 更新

事務事業名		消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康						所属部	総務部	課長名	財津公正
	施策	15	防災対策の推進						所属課	総務課	担当者名	白濱 裕
	施策の柱	49	災害応急対策						所属班	交通防災班	(内線)	1213
予算科目		会計一般	款 9	項 1	目 2	事業連番 10023	根拠法令	消防組織法			成果優先度評価結果	⑤
											コスト削減優先度評価結果	⑤
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・消防団の活動を支援するため、各班毎に消防積載車46台、小型動力ポンプ46台を配備している。これらの配備車両及び機械器具を円滑に維持管理するための事業である。
【業務の流れ】	・車検表および定期点検表の作成、周知、検査の実施、支払い。 ・消防団員に対する月2回の点検の実施徹底、故障の早期発見、修繕、支払。
【主な予算費目】	・需用費（修繕費） 役務費 公課費
【意見や要望】	・特に意見や要望等はない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・消防団積載車の車検定期点検及び小型ポンプ故障等の修繕を行ない、適切な機械器具の維持管理に努め、有事に備えることが出来た。		・車検・定期点検の実施。 ・消防団員による月2回の点検指示。 ・故障等に対する修繕。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 車検実施台数	台	・消防用備品積載車の購入1台増	
→ イ: 修繕台数	台		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・消防車両、小型ポンプ		→ ア: 消防車両	台
		→ イ: 小型ポンプ	台
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・災害時等の緊急に即対応できる状態を保つ。		→ ア: 修理が必要となった車両数	台
		→ イ: 修理が必要となったポンプ台数	台
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・修理が必要となる積載車等を限りなく少なくするため、消防団と連携し維持管理を行う。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア	台	25	19	27	23	19	27	0	0	
	イ	台	17	18	0	23	0	0	0	0	
② 対象指標	ア	台	46	46	46	46	46	46	0	0	
	イ	台	47	47	47	47	47	47	0	0	
③ 成果指標	ア	台	5	4	0	6	0	0	0	0	
	イ	台	6	14	0	8	0	0	0	0	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	2,899	15,194	12,075	11,307	15,771	3,650		
	(A) 事業費計	千円	2,899	15,194	12,075	11,307	15,771	3,650	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	0	0	4	0	4	4	0	0
		延べ業務時間	時間	0	0	180	0	180	180	0	0
		(B)人件費計	千円	0	0	717	0	717	717	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,899	15,194	12,792	11,307	16,488	4,367	0	0	

事務事業名	消防団積載車、小型ポンプ維持管理事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 ・機械器具の点検不良と思われる班で、小型ポンプが作動しない班があった。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・各班長、機械員と連携し機械器具の点検を行っていく。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・定期的な点検と適切な維持管理行い、正しい操作方法の習得等を行うことで、車輛、ポンプの故障を減らすことができるので、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・他に類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・支出は、修繕費と車検代であり、万全の備えを整えるために必要であり、削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・修理・車検のための消防団や業者との調整や支払い事務であり、修理の件数が減少すれば、その分の事務は軽減される。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・消防団の全分団に配備されている積載車、ポンプの維持管理のための費用であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・市が設置している消防団の資材の維持管理をするのは適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

・各班長、機械員と連携し更なる機械器具の点検を行っていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）					<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
	低下																													
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																														